



取扱説明書

NIMA tonearm

ver.1.04

はじめに

この度は ROKSAN NIMA ユニピボット・トーンアームをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
本取扱説明書には、本機設置や操作について重要な情報が含まれています。本説明書をお読みの上、設置や操作の詳細について充分にご理解いただき、正しくご使用の上、未永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

開梱

箱から商品を取り出して、中身を確認してください。

欠品がありましたら、直ちにお買い上げいただいた販売店に連絡してください。

NIMA トーンアーム	X 1	カウンター・ウェイト・ペグ	X 1
アンチスケート・ウェイト	X 1	取扱説明書（本書）	X 1
フィンガー・リフト	X 1	アームホルダー	X 1
カウンター・ウェイト	X 1	アームホルダー固定ナット	X 1
トーンアーム・ケーブル	X 1	VTA グラブネジ	X 1
六角レンチ	X 2	ロックワッシャー	X 1

※RADIUS 7 の付属品は、RADIUS 7 取扱説明書をご確認ください。

※本説明書は NIMA を RADIUS 7 以外に取り付ける時用に詳しく書かれておりますが、RADIUS 7 とセットでご購入の場合は、既に取り付けが終了している項目もあるので、その部分は項目を飛ばしてください。

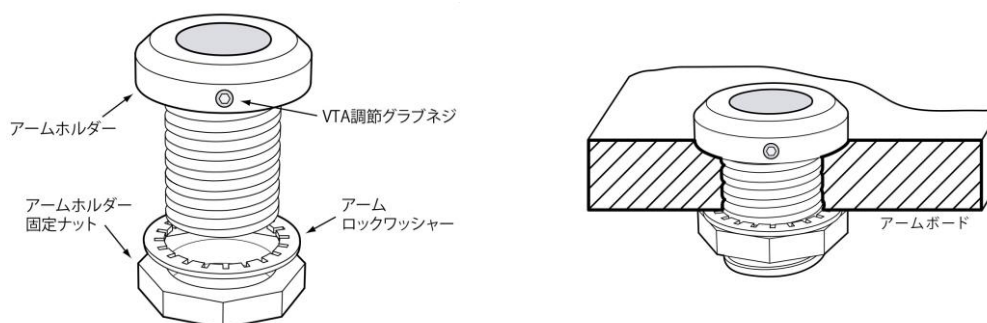
使用上の注意

- 本体内部に水などが入らないようにしてください。
決してキッチン、バスルームなどに置かないでください。
また油煙や湯気が当たるような所やホコリの多い所に置かないで下さい。火災・感電の原因となります。
- 極端に暑いところや寒いところ、湿度の高いところでの使用は避けてください。
- 感電の原因となりますので、濡れた手で電源アダプターを抜き差ししないで下さい。
- 電源アダプターのコードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないで下さい。
また重い物をのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源ケーブルが破損し、火災・感電の原因となります。結んだり巻きつけたりもしないで下さい。
- 表示された電源電圧で使用してください。
- 適切な機器とのみ、接続をしてください。疑問がある接続には販売店など、プロのアドバイスを得てからにしてください。
- 決して蓋を開けて分解、改造等しないでください。その場合での破損・故障等は保証の対象外となります。
- シャーシの汚れなどを取る時は、ベンジン・シンナーなどの有機溶剤の入った液体・洗剤で拭かないでください。本機が変色を起す事がありますので使用しないで下さい。

- 急に寒いところから暖かいところに移ると、内部で結露を起こします。このような場合、最低 1 時間は電源を入れずに待ち、室内温との差がなくなってから電源を入れてください。
- 長期間使用しない場合は電源アダプターをコンセントから抜き、ベルトを取り外してください。
- 本機を輸送する際は、アンチスケート・ウェイト、カウンター・ウェイトを外して本体を梱包するようにして下さい。

組み立て方法

- ① NIMA トーンアームを箱から取り出してください。
- ② アームホルダーをアームボードに取り付けてください。



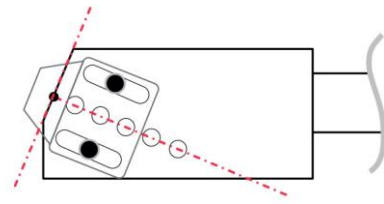
1. アームホルダーをアームボードの穴へ差し込んでください。
2. 図のようにロックワッシャーを取り付け、ナットを絞めてください。
この際、正面から見て右手側に VTA グラブネジがある状態で作業してください（グラブネジが絞めやすくなります）。
3. 15mm 六角スパナをレバーのように使い、慎重にナットを締めてください。ナットを締める際は 27mm 六角スパナを使用してください（付属しておりません）。

- ③ カートリッジを取り付けてください。

1. カートリッジの端子に付けられているテープを注意深く剥がしてください。
2. ヘッドシェルリード線をカートリッジへ取り付けてください。
・シェルリード線の信号名と色は下記図を参考にしてください。

信号名	色
右チャンネル (+)	赤
右チャンネル (-)	緑
左チャンネル (+)	白
左チャンネル (-)	青

- 右図の通り、カートリッジの中心線を点線に合わせて取り付けてください。この際、針先がヘッドシエルの縁から外側へ出ないようにしてください。



- カートリッジの位置を合わせた後、ネジを締めてヘッドシエルに固定してください。

注意

- ・カートリッジの端子を引っ張ったりしないでください。壊れる恐れがあります。
- ・フィンガー・リフトを取り付けたい場合は、ヘッドシエルの上に設置し、ボルトで固定してください。フィンガー・リフトとダストカバーがぶつからないよう確認してください。

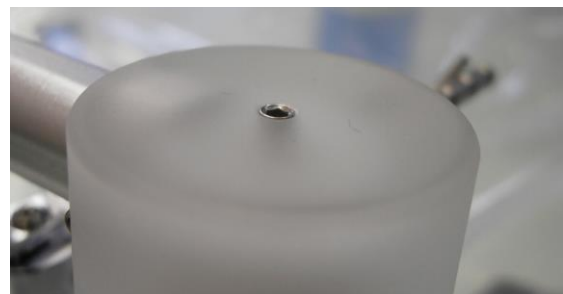
④ トーンアームを取り付けてください。

1. スタイラスガードが設置されていることを確かめてください。
2. アームをアームホルダーへはめ込み、ゆっくりと最後まで押し込んでください。
3. アームレストの上へアームを置き、ターンテーブル側面側から VTA 調節グラブネジを締めてください。締めすぎないように注意してください。

⑤ カウンター・ウェイトを取り付けてください。

※ネジがフラットになっている状態（正常）

1. ユニピボット・ベアリング・ネジが、フラットになっているか確認してください。万一下に沈み込んでいる、または上に突き出ている場合は、付属の六角レンチで、フラットな状態になるよう調整してください。



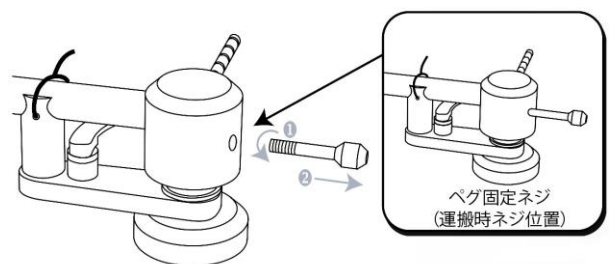
※ネジが沈み込んでいる状態（調整が必要）



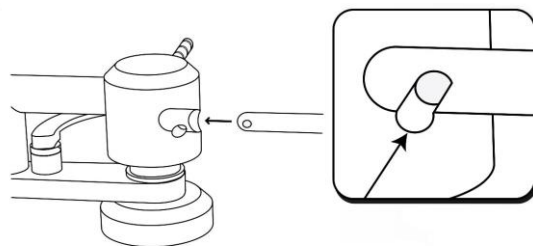
※ネジが突き出ている状態（調整が必要）



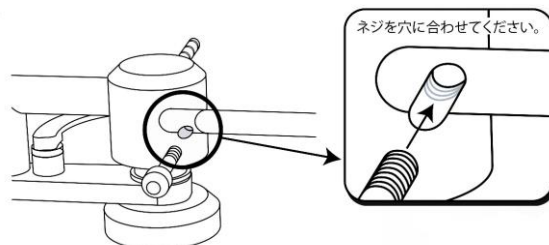
- 2 運搬時ネジ位置にあるペグ固定ネジを取り外してください。



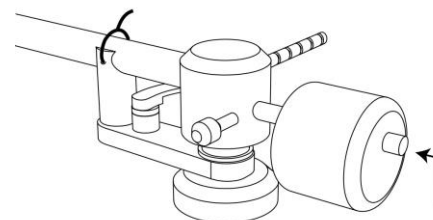
- 3 穴の位置を確かめながら、カウンター・ウェイト・ペグを差し込んでください。



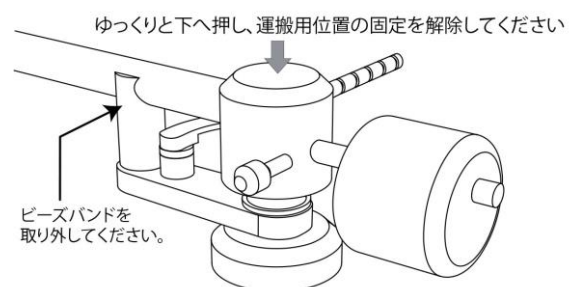
4. カウンター・ウェイト・ペグをペグ固定ネジで締めてください。締めすぎないように注意してください。



5. カウンター・ウェイトを取り付けてください。



6. ベアリング支柱が固定（運搬用位置）されているか確認してください。固定されている場合、ベアリング支柱をゆっくりと下へ押し、運搬用固定位置から解除してください。

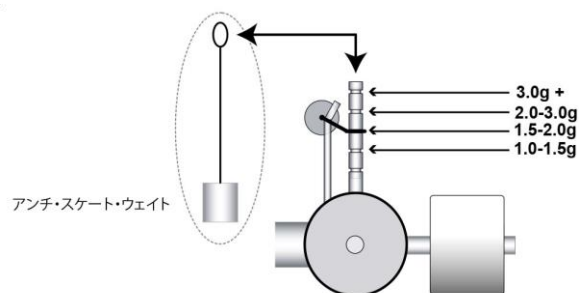


【注意】 輸送時の振動などで、アームが運搬用位置の固定場所から外れている（解除されている）場合があります。外れている場合でも、ペグ固定ネジが運搬時ネジ位置（項目2）にあればアームは保護されています。

その後、ビーズバンドを取り外してください。

- ⑥ アンチスケート・ウェイトを取り付けてください。

1. アンチスケート・ウェイトの輪になった部分を、指定の溝に掛けてください。
2. 図のように、アンチスケート・スレッド・バーの外側に紐を回し、ぶら下げてください。



- ⑦ トーンアーム・ケーブルを接続してください。

調整方法

① 針圧を調整してください。

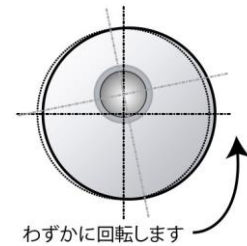
スタイラスガードを外し針圧計(別売)を使用して、正しい針圧になるよう注意深く調整します(注:10mN=1.0g)。

1. 針圧が弱い場合 カウンター・ウェイトをベアリング支柱へ近づけてください。
2. 針圧が強い場合 カウンター・ウェイトをベアリング支柱から遠ざけてください。

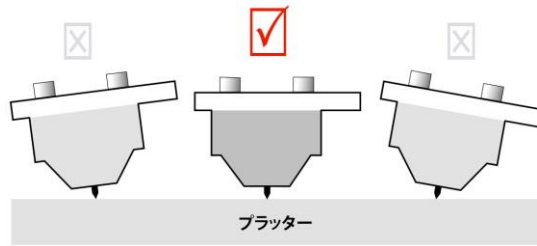
② カートリッジ角度を調整してください。

1. 図のように、カウンター・ウェイトはわずかに回転します。ゆっくりと時計回り、あるいは反時計回りに回してください。カウンター・ウェイトの穴の位置は中心からずれているので、カートリッジ角度の調整が簡単にできます。

この時、カウンター・ウェイトは前後に動かさないでください。針圧を変えてしまう恐れがあります。



2. カートリッジとヘッドシエルの角度を確認してください。カートリッジとヘッドシエルがプラッターやレコード盤と並行であれば、正しいアジマスとなっています。



③ VTA を調整してください。

スタイラスをレコードの上に置き、アーム・チューブがレコード盤と水平になっているか確認してください。

水平になっていない場合は：

1. VTA 調節グラブネジを締めたり、緩めたりして角度を調整してください。

注意

・VTA 調節グラブネジの調整は、必ずアームレストの上にアームを置いた状態で行ってください。

2. ユニピボット・ベアリング・ネジを上下に動かして調整してください。

ベアリング・ネジは 1-1.5mm 動かせます。

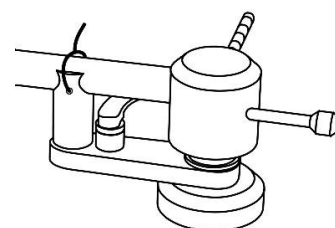
注意

・ベアリング・ネジを調整する際は、ベアリングを傷つけないように注意してください。

④ もう一度、針圧を調整してください。

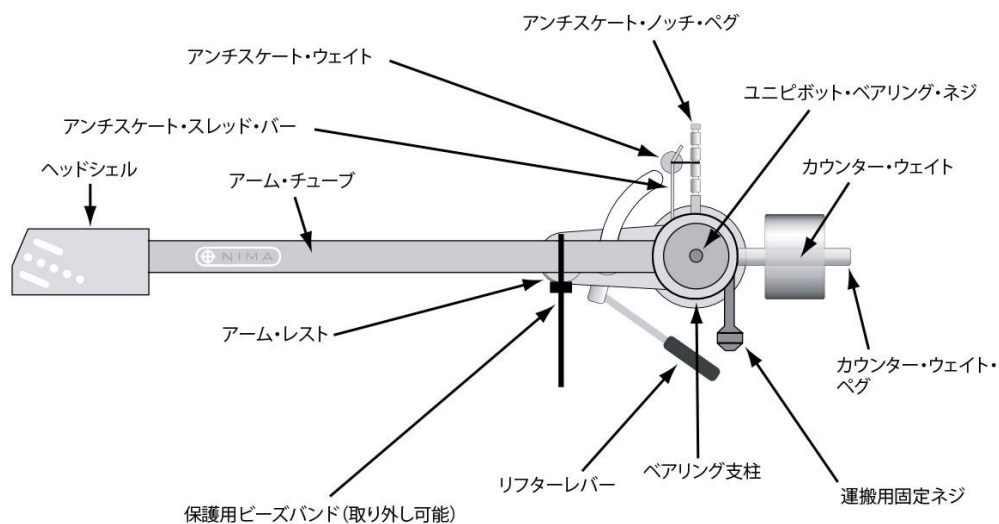
運搬の際は

- ① アンチスケート・ウェイトを取り外してください。
- ② カウンター・ウェイト、ペグ固定ネジ、カウンター・ウェイト・ペグを取り外してください。
- ③ ベアリング支柱を、運搬時ポジションに固定してください。
 1. ベアリング支柱を持ち、ゆっくりと揺らすようにしながらそっと上へ引き上げてください。
 2. 3-5mmほど引き上げたところで、固定された感触がします。
これでベアリング支柱は運搬時ポジションに固定されており、単軸スパイクネジがベアリングシートから離れた状態となっています。
 3. ペグ固定ネジを運搬時ネジ位置に取り付けてください。
 4. ビーズバンドをアームレストの穴へ通し、アーム・チューブに巻き付けてアームを固定してください。
- ④ 梱包してください。



ペグ固定ネジ
(運搬時ネジ位置)

各部説明



トラブルシューティング

修理を依頼される前に、以下の内容をもう一度確かめてください。また、本機以外の原因も考えられますので、接続した機器の使用方法も併せてご確認ください。

それでも正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

症状	チェック項目
針先がレコード盤におりない。	<ul style="list-style-type: none"> ・針圧は正しく調整されているか ・アームの水平バランスはとれているか ・アームリフターを下ろしているか
音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ・カートリッジとヘッドシエルの接続は正しいか ・出力ケーブルが正しくアンプに接続されているか ・アンプのボリュームやチャンネルの切り替えは正しいか
「ブーン」というハムノイズが出る。	<ul style="list-style-type: none"> ・出力ケーブルのアース線をアンプに接続したか。 ・出力ケーブルのプラグが確実に接続されているか。
針とびを起こす。	<ul style="list-style-type: none"> ・針圧が適正針圧になっているか。 ・レコード盤がそったり、傷が付いていたりしないか。 ・針先にホコリが大量に付いていないか。
アームが途中で進まない。	<ul style="list-style-type: none"> ・レコード盤に傷が付いていないか。 ・アームが何かに当たっていないか。
ノイズが出る 音が正常でない	<ul style="list-style-type: none"> ・ターンテーブルがスピーカーに近すぎないか ・カートリッジの針が正常か。
音が小さい、または大きい。	<ul style="list-style-type: none"> ・カートリッジの種類（出力 MM/MC）に適したアンプの接続切り替えになっているか

Specifications

ベアリング	ステンレススチール製ユニピボット
ベアリング支柱	アクリル
アーム・チューブ	アルミニウム合金
ヘッドシェル	アクリル
実効長	240mm
有効長	222.5mm
ヘッドシェル・オフセットアングル	22.9°
カートリッジ重量	11 g
マウンティングホール直径	23mm
アームボード厚み	7-25mm (最大)
搭載可能カートリッジ自重	5-12 g
推奨針圧	1.5-3.5 g
内部ワイヤー	Roksan Flexible PCB
トーンアーム・ケーブル	アース線付き高遮蔽同軸ケーブル
端子	RCA 金メッキ 5 ピンプラグ

ROKSAN は、常により洗練されたデザイン・設計を目指し、製品の改善に努めています。
そのためデザイン、性能等、事前の予告なしに変更される場合がございます。
また本製品の輸送に必要となる購入時の箱は、必ず保管しておいてください。

保証

本機の保証は株式会社ナスペックが行います。

詳しくは、株式会社ナスペックの HP/サポートページ(<http://naspecaudio.com/support/>)をご確認ください。

修理の際は、販売店または株式会社ナスペックにお問い合わせください。

※修理についてのご質問・送り先は、下記 本社/サービスセンターにてお受け致しております。

詳しいお問い合わせは **ROKSAN 日本輸入総代理店 株式会社ナスペック**まで




株式会社ナスペック
〒500-8386 岐阜県岐阜市藪田西 1-4-5

HP : <http://naspecaudio.com>

TEL : 058-215-7510

FAX : 058-268-7118

 : 0120-932-455

E-mail : support@naspecaudio.com

2021.12.17 (Ver 1.04)